



たかさき

Takasaki City Assembly News

# 市議会だより

高崎市議会ホームページ

### 主な掲載内容

- ◎第1回定例会の概要…………… 2～3
- ◎総括質疑…………… 4
- ◎一般質問…………… 5～10
- ◎委員会審査…………… 11
- ◎議案等審議結果…………… 12



高崎アリーナオープニングセレモニー

NO. **258**

2017.4.30

発行 高崎市議会

編集 広報委員会

高崎市高松町35番地1

TEL 027(321)1281

# 新年度予算を可決

一般会計は3.4%増の1,683億円



平成29年第1回定例会は、下記の日程により23日間の会期で開かれました。

本定例会では、市長が新年度予算についての施政方針や概要を示し、これに対し各会派の代表者が総括質疑を行いました。委員会での審査の後、市長提出議案52件及び議員提出議案1件はすべて原案のとおり可決、同意し、意見書案1件は否決されました。

また、提出された4件の請願のうち1件を採択しました。

なお、23人の議員が市政に対し一般質問を行いました。

2/22(水)	議案上程、28年度議案の提案説明～議決、市長施政方針 ほか
2/23(木)	29年度議案の提案説明
2/24(金)	総括質疑(*詳しい内容はP4)
2/27(月)、28(火) 3/1(水)、2(木)	一般質問(*詳しい内容はP5～10)
3/7(火)、8(水) 9(木)、10(金)	委員会審査(*詳しい内容はP11)
3/16(木)	付託された議案等の委員長報告～議決 ほか (*議決結果はP12)

庁舎前広場の円形花壇

## 新年度予算

本定例会で可決した主な議案

### 主要事業

#### ■田町に多機能型住居を開設

・シルバースター1田町の運営  
多機能型住居の1階に開設。さまざまな世代の市民交流を促し、高齢者の介護予防など福祉の増進を図る。

7034万円

#### ・子育てなんでもセンターの運営

多機能型住居の2階に開設。子育て支援の拠点として相談への対応や就労支援を行うとともに気軽に利用できる託児業務等を行う。

9347万円

#### ・多機能型住居内の住宅の運営

福祉人材確保のため、多機能型住居の7階から10階を介護士、保育士、看護師及びそれを目指す学生などを対象とした市営の住宅を設置する。

1億2025万円

\*この多機能型住居は、市が貸し付けた土地に公募で選定した事業者が建物を整備、その施設の一部を市が借り上げるものである。

#### ■高崎マルシェ等支援事業

平成29年の秋にオープン予定の高崎オーパ(仮称)で、1階に菓子や特産品などを販売する高崎マルシェ、7階にパスタや焼きまんじゅうなどを提供する開運たかさき食堂を開店する経費やテナント料、運営等に係る費用の補助を行う。

1億4969万円

#### ■集団健診へのタクシー料金を補助

地域の集団健診会場へ行くことが困難な70歳以上の高齢者に会場までのタクシー料金の一部を補助する。上限額は往復2000円。

400万円

#### ■高崎アリーナへのシャトルバスの運行

高崎駅西口から高崎アリーナ、城南立体駐車場や周辺地域を循環するバスを運行する。15分間隔で運賃は100円(小児半額)。

1995万円

#### ■高崎文化芸術センター(仮称)の整備

平成30年度に完成予定の同センターを引き続き整備する。

128億5561万円

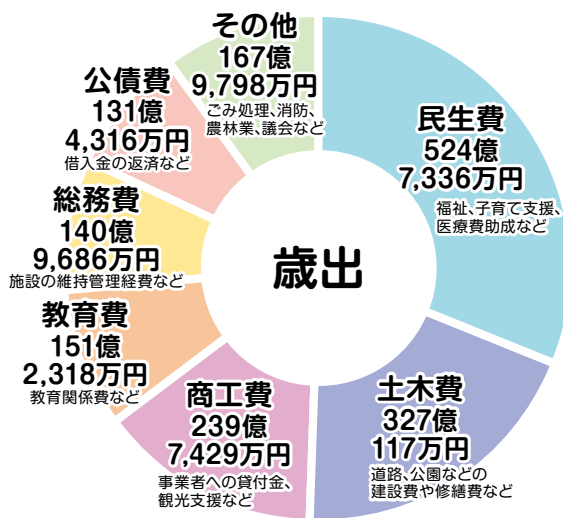
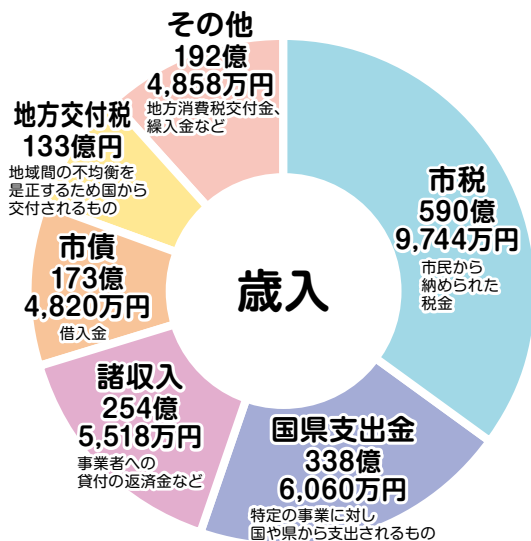
#### ■榛名湖荘の運営

臨海学校に替わり、榛名湖畔で林間学校を実施する。

9208万円

# 予算の概要

一般会計 1,683億1,000万円 (前年度比3.4%増)



特別会計 825億7,055万円 (前年度比1.3%増)  
 水道事業会計 104億8,581万円 (前年度比3.6%増)  
 公共下水道事業会計 143億 673万円 (前年度比1.3%減)

## 新年度議案への討論

**賛成**  
 適切な予算配置  
 (新風会)

経済を活性化させ税収基盤を強化し、それらを背景に市民福祉や個性的な高崎文化を充実させ、安心・安全でにぎわいのある住みよい高崎を建設する考えは大いに評価できる。英語教育の強化、集客力や商店街の活性化、音楽祭やスポーツの振興、文化財の保護、多機能型住居の開設、保育や救急医療体制の充実、合併地域の魅力づくり、防災情報放送システムの整備など限られた予算の中で最大限の予算を計上している。

**反対**  
 福祉や教育の充実を  
 (日本共産党)

アリーナや文化芸術センター(仮称)などの建設費が当初の予算から大きく高騰している状況に懸念を持つ。福祉、教育、子育て支援にもっと力を入れるべきである。学校給食の無料化、少人数学級の実現、保育園や放課後児童クラブの改善、高齢者支援強化、中小零細企業の支援強化、市営住宅入居の条件緩和、国保税の引き下げを求める。また、マイナンバーや後期高齢者医療は制度自体に同意しかねる。

## 議員提出により 手話言語条例を制定

手話は言語であるとの認識に基づき、手話に関する基本理念を定め、手話への理解や普及の促進を図り、共生社会の実現を目的とした手話言語条例を制定した。

■施行 平成29年4月1日

## 工場敷地内の緑地面積基準を緩和する条例を制定

工場立地法では、一定規模以上の工場に対し周辺環境との調和を図るため、工場の敷地面積に対する緑地面積などを規定している。従前は全国一律の基準であったが、地域準則を制定する権限が市に移譲されたため、独自の基準を定めた地域準則条例を制定した。

従前の基準よりも緩和することにより、既存工場の増改築や新規立地の促進、市内工場の流出防止につなげ、本市産業の振興と地域経済の活性化、雇用の創出を促進していく。

■施行 平成29年4月1日



工場敷地の緑化の様子

## くらぶち英語村(仮称)施設工事の契約

倉測地域の旧川浦小学校に山村留学施設である、くらぶち英語村(仮称)を開設するため、子どもたちの居住スペースとなる施設を建設する。

■契約金額 2億8490万円

■契約相手方 研屋・坂本工業くらぶち英語村(仮称) 施設整備工事特定

■竣工日 建設工事共同企業体

■建物概要 平成30年3月16日

木造地上2階建 延床面積 1178.66㎡

# 総括質疑

新年度予算や市長の施政方針などに対し、総括質疑が行われました。

## 新風会

青柳 隆 議員



**質疑** 「新しい高崎」の実現に向け、新年度予算編成に当たり特に心掛けた点や配慮した点は。

**答弁** 平成29年度予算編成も徹底した事業費の削減、重点事業の積極的な推進、人件費の圧縮の3つを基本方針に掲げ、市内経済の活性化と市民福祉の充実に向け予算編成に取り組んだ。

**質疑** 高崎ブランド・シティプロモーション事業の戦略は。また、農業者新規創造活動事業の実績や今後の展開は。

**答弁** インターネット技術を活用し、首都圏在住者や来訪者、世界に向けて本市の魅力や地域資源を広く発信できるように仕組みを構築する。また、農業者新規創造活動事業では、ドライ商品やジュースの開発など22件を交付決定した。今後も農家の所得向上や農業分野での高崎ブランドの確立に取り組みたい。

**質疑** 介護SOSサービスの利用状況は。また、高崎総合医療センターの新病棟建設の整備内

容や予定、本市の支援は。

**答弁** 介護SOSサービスは、昨年12月末で、訪問サービスが401件、宿泊サービスが30件あった。また、新病棟の建設は、増加する入院患者や手術件数などに対応するためである。7月に着工し、平成30年10月に竣工する予定である。本市では、12億円の**債務負担行為**を設定した。

**質疑** 病後児保育の全時的な配置バランスを考慮すべきだが、考えは。また、気になる子の早期発見、早期支援には保護者の理解が欠かせないが、考えは。

**答弁** 年々高まるニーズや実施施設の地域バランス等を考慮し、病院関係者などと協議しながら、施設の拡充に努めたい。気になる子に対し、こども発達支援センターでは、保育現場への巡回相談で保育士や保護者へのアドバイスを行い、センターとの個別相談につなげることで信頼関係を築きつつ、保護者の理解が得られるよう支援を行っている。（その他の質疑）

教育と人づくり、文化と歴史を生かした創造的な高崎、合併地域の魅力づくりなど

## 公明党

丸山 覚 議員



**質疑** 高崎オーバ（仮称）で高崎産農産物やパスタを提供するが、目指すものは。また、中央銀座商店街の再整備で市全体にぎわい創出につなげる考えは。

**答弁** 高崎の魅力を広く提供し、商品や店舗の知名度を上げ、高崎ブランドの確立を目指す。また、アーケードの再整備では、店舗の外観などを統一し、昭和の風情漂うまちづくりを進め、新たなにぎわいを創出する。

**質疑** 障害者支援SOSセンター（仮称）の意義と概要は。また、放課後児童クラブの今後は。

**答弁** センターは、障害に関す



「新しい高崎」を目指して

る悩み事等をいつでも受け付け、障害者やその家族等への支援体制強化を図る。また、放課後児童クラブの整備は、空き家、空き教室の活用にも積極的に取り組むとともに支援員の資格取得や資質向上に係る研修についても引き続き毎年実施していく。（その他の質疑）

活力あるまち高崎、文化・スポーツと歴史を生かした街づくり、住みたくなる街づくりなど

## 市民クラブ

木村 純章 議員



**質疑** 三重県津市では、今後40年間の公共建築物の更新費用を推計し公開している。本市でも既存施設の改修費を積算する必要があると感じるが、見解は。

**答弁** 数字を出している市町村もあるが、単純な机上計算をしているだけである。公共施設の修繕等は財政や各施設の状態、地域の実態、議会の審議などを踏まえ予算を確保していくものと考えている。

**質疑** 支所地域支援として、1地域当たり2000万円が計上されている。今後は、基本額に面積や人口割応分を加えていく段階と思うが、考えは。

**答弁** 道路維持補修工事につい

ては、傷みの具合などそれぞれ状況が異なるため、各支所の実態等を考慮し予算配分している。地域住民の安心・安全を第一に考えた維持補修等が進められるよう今後も留意していきたい。（その他の質疑）

ゆとりと余裕を持った教育現場づくり、産業振興と雇用創出と農産物消費拡大など

## 日本共産党

伊藤 敦博 議員



**質疑** 高崎アリーナは、平成26年度に109億円の事業費でスタートしたが、最終的には150億円を超える支出となり市民から批判の声がある。高崎文化芸術センター（仮称）の工事費は、いくらになる見通しなのか。

**答弁** 高崎文化芸術センターの建設費用は、既に発注している本体工事や舞台照明などで約260億3000万円、今後発注予定の外構工事が約1億円、合わせて261億3000万円を予定している。今後も建設物価等の変動に注視し、経費の節約に努めていく。

（その他の質疑）

予算編成の基本方針、教育施策、福祉施策、子どもの貧困対策、交通弱者対策など

# 市政を問う

# 一般質問

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問することをいい、毎定例会で行われます。質問者順で掲載しています。

さらに詳しい内容は会議録で ※5月末から市議会ホームページや図書館でご覧いただけます。



**高崎市労使会館  
マイナンバーの影響**

田村 理  
(日本共産党)



**質問** 高崎市労使会館のトイレの洋式化やバリアフリー化の取り組み状況は。

**答弁** 各階の男女トイレとも1か所ずつ洋式化している。増やすには大規模な改修が必要であり、今後検討していく。また、会館入り口にスロープや自動ドア、館内にエレベーターを設置し、段差の解消に努めている。

**質問** マイナンバーカードを申請し、現在そのカードが手元に届き、各種サービスを実際に利用できるのは全市民のたった6・8%にすぎないが、莫大な税金が投入されている。マイナンバー制度開始に伴い市民に対応を求めてきたことは。



**近居・同居の応援  
大人版救急電話相談**

小野 聡子  
(公明党)



**質問** 親の家の近くに家を建てたり借りる場合や2世帯住宅に建て替える場合の支援策は。また、若い世代が空き家を活用する場合の改修費やローン返済、家賃補助などの支援の考えは。

**答弁** 倉瀬・榛名・吉井地域で土地や住居を取得した場合、融資の利子を5年間全額補助している。また、建て替えなどの住宅改修には上限20万円を助成している。空き家を改修する場合は費用の2分の1、上限250万円、前述3地域の空き家を借りる場合は家賃の2分の1、上限月額2万円を助成している。今後さまざまな観点からさらなる支援策を研究したい。

**質問** 市営住宅の世帯用の空き部屋を単身者同士で住むような活用はできないか。

**答弁** 同居可能な資格要件が親族と定められているため、市営住宅の単身者同士の同居は、現状では対応できない。

**質問** 救急車を呼ぶか判断に困る状況のとき、県では子どもの場合#8000として電話相談に応じている。この制度の大人版も必要と思うが、考えは。

**答弁** 夜間に病気への対処方法や応急処置などを電話で対応することで医療機関を受診しなくて済む場合もある。医療機関や救急車の適正利用にもつながるため、現在、県に要望している。



**高崎だるま市  
浜川運動公園の拡張**

時田 裕之  
(新風会)



**質問** 街中で1月1日、2日に開催した高崎だるま市は、予想を超える人でにぎわっていたが、実績と効果は。

**答弁** 2日間で約25万人が来場した。高崎だるまの販売は、初日分がすぐに売り切れ、2日目の販売分を急ぎよ用意したと伺っている。特大だるまには、記念写真を撮る行列ができ、高崎だるまを大いにPRできた。また、飲食店では入店待ちの行列ができたと聞いている。



多くの人でにぎわう高崎だるま市

**質問** 第1回の高崎だるま市を実施した感想は。

**答弁** 多くの来客を迎えることができた。街中で開催した史実と合致し、成功したと認識している。来年は会場を駅前からあら町交差点までの2倍に拡大し、安心・安全で快適に楽しめるようにする。だるま市が定着し高崎のお正月の風物詩となるよう今後も支援していきたい。

**質問** 浜川体育館の耐震工事の考えは。また、浜川陸上競技場の改修工事の状況は。

**答弁** 浜川体育館が東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地となる可能性もあり、使用に即した改修と併せて耐震工事を実施したい。また、浜川陸上競技場は、走路の全天候舗装と芝生スタンドの拡張工事を行い、日本陸上競技連盟の陸上競技場第2種公認を継続する。



## 姉妹都市連携 スクールソーシャルワーカー

根岸 勉夫  
(新風会)



**質問** 東京オリンピックの事前合宿に向け、交流の深まったポロランドとの今後は。また、ポロランド国内の都市との姉妹都市連携について、考えは。

**答弁** 昨年5月にリオ五輪のバレーボール最終予選の事前合宿を本市で行うなど経済、文化、スポーツを通じて交流している。今後も東京オリンピックでのポロランド選手団の受け入れに調整を重ね、事前キャンプ地の誘致につなげたい。また、姉妹都市連携について、オリンピック委員会アンジェイ会長にふさわしい都市を紹介していただいている。当該都市との話し合いを

準備し、青少年の交流やスポーツでの訪問交流など検討したい。  
**質問** 本市のスクールソーシャルワーカーの仕事内容と現在の配置状況は。

**答弁** 平成24年度から社会福祉士の資格を有したスクールソーシャルワーカーを配置し、現在、4人で市内を4エリアに分けて中学校を拠点に学校支援を行っている。主にケース会議や家庭訪問等で家庭問題や児童・生徒を取り巻く生活環境の改善に向け、関係機関等への調整を行うなど、支援が必要な家庭が孤立しないような見守り体制が構築できている。



## ファミリー・サポート・センター 送迎サービスへの支援を

後藤 彰  
(新風会)



**質問** ファミリー・サポート・センター事業の概要は。

**答弁** 子育ての援助を受けたい人で行いたい人との相互援助活動を支援する事業で、誰でも利用できる。平成27年度は、1748件の利用があり、習い事等への送迎や保育施設等の降園後の預かりが多くみられた。

**質問** ファミリー・サポート・センターでは、夜間や急な出来事への対応は難しいと考える。

民間の送迎サービスは、夜間救急病院への送迎など突発的な事由にも対応でき人気がようだが、利用者に支援できないか。

**答弁** タクシー会社で子ども専用タクシーを用意し、送迎等を実施していることは承知している。しかし、送迎を利用する事由も多岐にわたることから利用者への支援は現時点では難しい。

**質問** 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、国は

## 地域包括ケアシステムの構築を目指している。その中で薬剤師に期待されることは。

**答弁** 薬剤師が自宅や地域に出向く体制を整備し、適切な服薬



## 避難所の運営体制 アリーナシャトルバス

中島 輝男  
(市民クラブ)



**質問** 災害時、小学校などの避難所の運営体制は。

**答弁** 市職員と教職員などの施設関係者、自主防災組織、町内会に協力をいただき運営していく。運営には避難所運営マニュアルの整備や継続的な訓練が大切と考える。また、活動中の事故や負傷した場合に備え、全国市長会市民総合賠償補償保険に加入している。

**質問** 学校が避難所となった場



ファミリー・サポート・センター事務局

指導、残薬の管理を行い、在宅医療を支えることが望まれている。また、医療や介護職等と連携し、地域包括ケアシステムの構築に関わっていく役割がある。

**質問** 公立学校の教員等は県の職員であり、その勤務内容は県教育委員会が定めているため、今後、連携して明確にする必要がある。また、避難所運営への協力業務については、公務災害



## 本市の働き方改革 ぐるりんの路線延伸

依田 好明  
(日本共産党)



**質問** 市の非正規職員の処遇改善は。また、非正規職員から正規職員になれる仕組みは。

**答弁** 嘱託や臨時職員の報酬や賃金単価は、正規職員の給与改定や他市の状況を踏まえ、改善に努めている。平成28年度は嘱託職員の報酬月額を500円、臨時職員の時間単価を15円増額した。また、正規職員の採用は、競争試験を実施しており、本市は門戸が広く59歳まで受験できる。ぜひ試験に挑戦してほしい。

**質問** 市職員の残業の実態と有給休暇や育児休業の取得状況は。

**答弁** 平成27年度の職員1人当たりの時間外勤務は月平均4・

補償の対象とするよう、県教育委員会と確認ができています。  
**質問** 高崎アリーナシャトルバスの運行コースで国道17号の城南交差点を右折する場所が危険と思われるが、安全対策は。

**答弁** 国土交通省高崎河川国道事務所や高崎警察署との入念な事前協議で安全に運行できるとの判断をいただいた。また、運行事業者と市職員が同規模の車両で数日間、あらゆる時間帯で試走し、特に支障なく走行できている。利用者の安全確保を最優先とした運行に努めていく。

8時間、年次有給休暇の取得は12・5日であった。女性の育児休業の取得は100%、男性はなかったが、本年度は1人取得した。引き続き啓発に努めたい。

**質問** 浜川第二町内会は、民間のバスやぐるりんの路線から離れており不便である。10分以内で回れる距離であるが、ぐるりんの路線を延伸できないか。

**答弁** 対象の大八木線は、年間6万人が利用する1循環1時間30分の長大な路線である。現行のダイヤは最大限の便数であるため、数分程度の延伸も現状では難しい。しかし、要望を踏まえ、引き続き検討していきたい。



- 地域包括ケアシステム
- 自主防災組織

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療や介護、予防が一体的に提供される体制のこと。地域住民による任意の防災組織で、主に町内会が中心となって防災活動を行う任意団体のこと。



### 国道406号の整備 農産物のブランド力向上

追川 徳信  
(新風会)



**質問** 国道406号は、渋滞が著しい。この慢性的な渋滞に対する市の考えは。

**答弁** 渋滞原因は、交差点が右折レーンが設置されていないか距離が短いことによる。解消には交差点の改良工事が必要と考える。県が管理する国道であるが、本市の重要な路線のため、今後も引き続き県へ強く要望していきたい。

**質問** 知名度の高いブランド品をつくるため、市はどのような取り組みをしているのか。

**答弁** 農業者新規創造活動支援事業により市内で生産された農畜産物の加工から販売までを行



### 雨天時に傘を差さずに行ける歩道整備を

木暮 孝夫  
(公明党)



**質問** 高崎駅から高崎文化芸術センター(仮称)まで傘を差さずに行けるペDESTリアンデッキの整備を望むが、見解は。

**答弁** 高崎駅東口から高崎文化芸術センターまでの歩行経路は、駅の2階から直接行き来できる

よう、屋根付きのペDESTリアンデッキで接続する工事に着手した。しかし、既に整備が完了している駅前部分については、屋根をつけられる構造になって

う6次産業化やブランド化を確立する取り組みを積極的に支援している。この制度により、着実にブランド力や生産性の向上、農業者の所得向上に寄与しているものと考えられる。

**質問** 大規模農産物海産物センターの内容と今後は。

**答弁** 農産物や海産物を大量に販売するセンターとして、高崎玉村スマートインテナーチエンジの産業団地の中に建設する予定である。プロポーザル方式により企業から提案をいただき、それと市の方針をあわせて建設を進める。新年度に募集を行い、できるだけ早く企業を決めたい。

いないため、根本的な構造変更が必要となる。今後、対応について検討したい。

**質問** 学齢期の不登校からひきこもりへ移行するケースもあるようだが、この状況をどのように把握しているのか。

**答弁** ひきこもりの要因や時期がさまざま、中学卒業後の連絡手段の困難さなどから、現時点では実態把握できていない。今後、関係機関との情報共有の



### 空き家解体助成の成果 高崎シティプロモーション

三島 久美子  
(無所属)



中で、調査研究が必要と考える。

**質問** 今後のひきこもり対策は。

**答弁** ひきこもりからの改善には長い時間が必要である。就労については、事前の就労訓練か

**質問** 本市はさまざまな助成、委託、補助事業を行っているが、市民の貴重な税金が使われる以上、成果を徹底的に検証するべきである。助成事業である空き家解体助成の実績と成果は。

**答弁** 3年間で427件、3億8754万円助成した。市内経済の活性化や景観など大きな成果を上げていると考える。今後は、跡地の活用状況を検証し、より良い制度にしていきたい。



子どもの安全を守る道路標示

ら就労定着支援、その後の支援も大切になる。本市では、相談窓口機能の充実と周知及び情報発信に努め、関係機関との連携強化を一層深めたい。

**質問** 平成24年度の事業開始以来、累計で1億5000万円もの補助を行っている高崎シティプロモーション事業の課題は。

**答弁** 事業の実施により、高崎のブランド力や知名度は確実に向上しているが、すぐに企業誘

**質問** JR信越本線の豊岡地区に新駅を設置することによるアクセス向上は、高経大だけでなく地元にも重要だが、見解は。

**答弁** 市街地への通院、買い物、移動手段のほか、中高生等交通弱者にも鉄道やバスが簡単に利用できる環境整備は大切である。今後、十分に検討していく。

**質問** 本市のカーブミラーの鏡面サイズは、600と800ミリメートルの2サイズあるが、今後、計画的により見やすい大きいサイズに変更できないか。

**答弁** 本市では、設置場所に適した大きさを採用しており、大きな鏡面への変更には、それぞ



### 信越本線に新駅設置を 通学路の交通安全対策

田角 悦恭  
(新風会)



致や人口の増加につながるものではない。PRを続けていき発展を続ける都市を目指したい。

**質問** 巨額な財政投入している事業を本市が目指す都市創造に結び付けることが肝要であるが、今後のまちづくりの取り組みは。

**答弁** 選ばれる都市となるため、さまざまな事業は投資と考えている。現在、投資している段階であるが、駅前のマンションも即日完売になるなど、既に成果は出てきている。今後も総合的な投資を行い、税収や人口増につなげる施策に取り組みしていく。

れ現場ごとの判断が必要である。効果が認められる場合には積極的に採用していきたい。

**質問** 市内小・中学校周辺における交通安全対策用道路標示の文字及び案内標識板の大型化への取り組みや今後の方針は。

**答弁** 道路標示は県の道路標示作図例に基づき最大サイズを採用している。路面のカラー化は、路面がぬれた場合に滑りやすくなり採用していない。また、案内標識板は標識令等で基本的な寸法が定められ、道路の形状や道路景観に配慮することで拡大縮小できる。今後、視認性や安全性を考慮し設置していく。



### イクジイ、イクバアの育成を 小学校の英語教育 (市民クラブ)

堀口 順  
(市民クラブ)



**質問** イクジイ、イクバアの取り組みは、男女共同参画や女性活躍推進の視点からも積極的に推進すべきと考えるが、見解は。

**答弁** 子育てにおいて、祖父母が一番頼れるサポーターであるが、祖父母の中には経験が乏しい方や世代間ギャップの子育て方法に戸惑いを持つ方もおり、孫育ての支援が必要と考える。他自治体等の情報を収集し、イクジイ、イクバアの育成や孫育ての調査研究に取り組みたい。

**質問** 本市は、外国語活動を小学1年生から4年生まで週1時間、5年生からは読む、書くを取り入れ週2時間授業している。



### 公共施設等総合管理計画 イノシシの市街地出沒対策 (市民クラブ)

高橋 美奈雄  
(市民クラブ)



**質問** 公共施設等総合管理計画における今後10年間の大規模改修を含めた老朽化対策や建て替え、新規事業など年度別更新費用の推移は。

**答弁** 本計画では、施設状況や財政状況を勘案し予算を確保することとし、維持補修費では、平成28年度決算見込み額をベースに約17.0億円見込んでいます。また、高崎文化芸術センター(仮称)建設等の大きな事業が予定

文法が始まる5年生で、いわゆる中1ギャップが小5ギャップとならないか。その対策は。

**答弁** 小学1年生から適切な段階を踏み、5年生からの英語学習にスムーズに接続できるように英語力の向上に努めていく。

**質問** 高崎アリーナ本体と付随する整備も含めた総事業費とランニングコストは。また、今後の返済計画は。

**答弁** 総事業費は約15.4億3000万円、ランニングコストは、指定管理料として約2億2000万円を計上している。また、返済は有利な起債を活用し、完成後25年で終了予定である。

**質問** イノシシの市街地出沒を受け、県では対応指針をつくり、また、新年度予算案にも対策の経費が多く盛り込まれているようにうだが、具体的な内容は。

**答弁** 県予算案では、市町村が行う有害鳥獣捕獲に係る補助の充実など強化に取り組むとして

いる。また、イノシシ等の市街地出沒対策指針では、緊急時に市や警察署、実施隊などの連絡体制の整備や出沒時の役割分担などの手順を定めている。本市



### 支所の公用バス 移住促進策 (新風会)

長壁 真樹  
(新風会)



**質問** 支所管理の公用バスには、平成2年に購入など、年数がたっているバスもある。更新も必要と考えるが、今後の方針は。

**答弁** 高崎市自動車管理規則を基本に、合併前の利用形態にも配慮し、引き続き安全な運行に努める。また、住民の避難が必要な際の出勤など、地域住民の安心・安全にも活用していく。

**質問** 移住促進には、各支所での空き家バンクの作成や移住促



孫の世話をするおじいちゃん

では指針が示される前から高崎警察署と打ち合わせを行い、イノシシ等が出沒した場合は、警察で対応し、市や実施隊は警察の依頼で出勤するとしている。

際に受ける融資の利息を5年間全額補助する。平成28年12月末現在で44件利用された。

**質問** 小規模校に対する教育長の考え方は。

**答弁** 小規模校は、人間関係の固定化や学習面で切磋する機会が少ないなどの心配もあるが、きめ細かな指導が受けられるメリットもある。また、いじめ問題が少なく、全国の学力調査も健闘している。今後も小規模校の子どもが不利益を受けないよう、教員の増員や他校と連携した体験活動の実施等に取り組む。



### 放課後児童クラブの課題 防火対象物の点検報告 (公明党)

新保 克佳  
(公明党)



**質問** 本市の放課後児童クラブの入所児童数等の推移は。

**答弁** ここ3年の入所児童数は、平成26年度が3513人、27年度が3650人、28年度が3929人で年々増加している。また、利用児童数の増加に伴い、利用率やクラブ数も増えている。

**質問** 空き家を活用した施設拡充の考えは。また、保護者や支援員から学校の余裕教室を放課後児童クラブに提供してほしいとの要望があるが、見解は。

**答弁** 学校周辺の空き家の活用については、クラブの支援員とともに適当な物件の確保に努めている。また、使用可能な教室





### 高崎誕生420年祭 免許証自主返納者支援

### 後閑賢一 (新風会)



**質問** NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」がスタートした。直虎に育てられた井伊直政は、後に徳川四天王の筆頭となる。その出世の地が箕輪12万石であるが、箕輪城跡に案内所や休憩所、売店を設置できないか。

**答弁** 昨年11月に郭馬出西小口門が完成し、箕輪城跡を訪れる観光客は増加している。案内所等の設置は、来場者からも要望があることは把握しており、今後、研究していきたい。

**質問** 直政公が箕輪から城を移し、成功高大の意から高崎と命名した。高崎が誕生し420年目となる来年に高崎誕生420年祭を開催できないか。

**答弁** 本市では市制施行100周年などの節目に記念事業を実施しており、高崎誕生420年祭を実施する予定はないが、直政と高崎のつながりの歴史は今後も情報発信していきたい。

**質問** 運転免許証自主返納者が安心して生活するための救済策は。

**答弁** 高齢者の食や運動を通して健康づくり、地域や家族から孤立しない仕組みづくり等、足の確保策と併せて多方面からの検討が必要である。高齢者が掛けやすい施策と、身近な場所へ赴く施策の両面から検討し、適切な対策を講じたい。



### 史跡と高崎自然歩道 学校図書館と読解力向上

### 白石隆夫 (新風会)



**質問** 高崎自然歩道周辺には、茶臼山城などの城址や山上碑、金井沢碑があり、石碑の路では万葉の歌碑も多く見られる。今後、利用者が増えると思うが、周辺施設の整備状況は。また、ガイドマップの準備状況は。

**答弁** 利用者の安全確保と利便性向上のため、本年度は公衆トイレの改修と駐車場整備工事を行った。そして、山上碑と金井沢碑の導入路には、木道やトイレ、あずまやを整備している。また、丘陵散策を楽しむ人にガイドマップを配布している。最近、上野三碑の関心が高まり在庫が少なくなっており、適宜増刷しPRに努めていく。

**質問** 読解力の向上には、学校図書館の活動が大きな役割を果たすと思われる。本市では学校図書館に力を入れているが、読解力向上に対する成果は。

**答弁** 文部科学省では、読書量

と学力の間には相関があると調査研究されている。読解力の向上を支えているのは司書教諭や図書館指導員で、書架の工夫や読み聞かせ等の活動をしている。



### がん患者への支援 支援員の処遇改善を

### 渡邊幹治 (新風会)



**質問** 昨年12月にがん対策基本法が改正されたが、本市のがん患者への支援内容は。

**答弁** 高崎総合医療センターと日高病院内に専門的ながん相談窓口があり、医療のほか医療保険や社会福祉制度の利用方法、悩みの相談もできる。また、民間団体が、がん経験者やその家族による地域がんサロンを月2回開催している。患者や家族に必要な支援が総合的に受けられ

この活動により、西小学校、新高尾小学校は文部科学省の子どもの読書活動優秀実践校として、乗附小学校は読売教育賞の優秀校として表彰された。

**質問** 学童保育を利用する児童数が増加し、支援員不足にどのクラブも頭を痛めている。支援員の確保についての考えは。

**答弁** 広報等への募集記事の掲載などを行っているが、関係機関と連携し、推進したい。

**質問** 市はタクシーを活用した交通手段や制度、事業者との協議などを行っているのか。

**答弁** タクシーは、鉄道やバスを補完する重要な公共交通機関と考える。現在、高崎地区タクシー協議会を通じ、高齢者の買い物や医療機関など生活の足の確保やタクシーの利用促進の観点から意見交換を行っている。



### 足元をかためる施策 行政区からの要望

### 木村純章 (市民クラブ)



**質問** 行政区での相互支援の取り組みは。

**答弁** 住み慣れた地域で暮らしていくためには、地域での支え合いが重要である。民生委員や児童委員、区長がひとり暮らし高齢者への声かけなどを行い、

**質問** 道路や水路の改修について、行政区からの要望への対応状況は。

**答弁** 要望が出された箇所は、地域の意向を踏まえながら、現地の確認調査を行い、内容を検討した上で、それぞれの地域の実情に合った整備や予算措置をしている。今後も、緊急性や地域性を踏まえ、各支所地域のバランスに配慮しながら生活道路などの環境整備に努めていく。



完成した郭馬出西小口門を訪れる市民



### 高崎駅周辺の交通問題 オスプレイの安全性

伊藤 敦博  
（日本共産党）



**質問** 高崎オーバ（仮称）開業に伴う交通集中の予測や対策は。

**答弁** 平成27年に交通量調査を実施し、交通量予測を行った。来店台数が多い休日では1日当たり約5900台と推計している。

**質問** 交通量予測と交通シミュレーションの結果から駅周辺の交通規制の見直しや支障となる電柱の移設などを整備計画に反映した。

**質問** オスプレイの安全性の認識は。また、日米共同訓練に反対すべきでは。

**答弁** 昨年12月の沖縄での事故原因は、特定に至っていないが、防衛省は要因について、あらゆる可能性を分析し、それらの要

因を幅広く網羅する再発防止策を米側が全て実施したことを確認した。市は、国に対し市民の安心・安全に最大限配慮し、地域に与える影響を最小限にとどめるよう求めている。

**質問** 子どもの貧困問題の根本的な解決には、組織の枠を超えた取り組みが必要では。

**答弁** 子どもの貧困問題にはさまざまな側面があり、複数の部課が連携する必要がある。連携により、個々には対応し切れない課題の解決に向け、迅速な対応ができる。今後も組織横断的な連携を密にし、子どもの貧困問題に取り組んでいきたい。

**質問** 少林山七草大祭との連携はできないか。

**答弁** 少林山七草大祭は、本市の伝統ある行事と認識しており、市内全区長に交通規制の町内回覧を依頼したり、駐車場用地として公園等を貸し出すするなど、支援している。今後も必要な支援を継続していきたい。

**質問** 本年夏に予定される上野三碑の「世界の記憶」登録に向けた計画と登録後のPR活動は。

**答弁** 1月1日、2日開催の高崎だるま市と6日、7日開催の



### 高崎だるま発祥の歴史 「世界の記憶」の登録後

清水 明夫  
（新風会）



**質問** 本市で現在認識している高崎だるま発祥の歴史は。

**答弁** 昭和30年に旧豊岡村が高崎市と合併するまで豊岡だるまと呼ばれていたが、平成18年に高崎だるまとして県内第1号となる地域団体商標登録を行った。高崎のだるまづくりは、今から200年前と言われているが、諸説あるようである。

**質問** 1月1日、2日開催の高崎だるま市と6日、7日開催の

**答弁** 少林山七草大祭は、本市の伝統ある行事と認識しており、市内全区長に交通規制の町内回覧を依頼したり、駐車場用地として公園等を貸し出すなど、支援している。今後も必要な支援を継続していきたい。

**質問** 本年夏に予定される上野三碑の「世界の記憶」登録に向けた計画と登録後のPR活動は。

**答弁** 1月1日、2日開催の高崎だるま市と6日、7日開催の

**答弁** 世界の記憶登録に向け、周知活動を引き続き実施する。登録後は、上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会を中心としたシンポジウムや記念イベント、



### 文化芸術センターの請負契約 バイパスの渋滞対策

大竹 隆一  
（新風会）



**質問** 高崎文化芸術センター（仮称）の請負契約について、平成28年の6月議会に議案が提出され、再び9月議会にも議案が提出された理由は。

**答弁** 舞台照明や音響などの設備工事について、最先端で性能の良い製品の選定やデザイン、設置方法の調査、検討に時間を要したこと、6月の本體工事とは別に9月議会に提出した。

**質問** 国道254号バイパスが

**答弁** 多胡碑の書としての価値をテーマにした日中書道展などを開催予定である。また、特設ホームページや小・中学生向け教材の更新、告知活動を実施したい。

**質問** 開通することで高崎神流秩父線の渋滞が予想されるが、対策は。

**答弁** 現在、本郷交差点に大型表示板を設置し、右左折を案内している。平成29年度末の開通後もこの表示は変えず、本郷交差点で車両を分散し、高崎神流



### 高齢者のボランティア活動 ごみ行政

丸山 寛  
（公明党）



**質問** 元気な高齢者の社会貢献活動として、ボランティアの観点からの本市の取り組みは。

**答弁** ボランティア活動の場として、介護予防サポーターや認知症サポーター等のほか、生活支援体制整備事業がある。市では、協議体メンバーや担い手として活動する人を地域支え合いサポーターとし、ボランティア保険など活動費を支援している。

**質問** ごみステーション見守りカメラ設置の効果は。また、区長などの閲覧は可能か。

**答弁** 効果として、事業系のごみが出なくなった、車からの投げ捨てがなくなったなどがある。

**質問** 秩父線への通過交通の軽減を図る。また、抜本的な解決策として、矢田岩崎線の早期事業化を群馬県に要望していく。

**質問** 吉井中央公園は、防災機能を持つとのことだが、進捗状況と今後の整備内容は。

**答弁** 全ての用地取得が完了し、新年度より公園整備に着手する。本市初の防災機能を有した公園として、災害時は一時避難所として利用可能となる。また、平常時は野球場とグラウンドゴルフ等ができる多目的広場として整備していく。

**質問** 違反ごみの排出が改善されない場合、市の職員がステーションに待機し、マナー違反の排出者に直接指導している。また、画像確認の必要がある場合は、区長などに閲覧してもらうが、市で対応できるよう努めている。

**質問** ごみを減らすには、分別が重要だが、啓発の取り組みは。

**答弁** ごみかわら版、広報高崎等で適正なごみ排出方法を周知している。昨年9月からごみ分別アプリを配信し、5000人以上が登録した。また、小学校では、市独自の副読本や高浜クリーンセンターの見学など環境学習に取り組んでいる。



介護予防サポーター養成研修

# 委員会審査

## 総務教育常任委員会

**質疑** 城南立体駐車場の料金は、城南野球場や高崎アリーナでの大会開催時には無料となるようだが、会議等の場合はどうなるのか。

**答弁** 役員会議などで会議室を利用する人も無料で使えるように考えている。その際は、駐車券の処理で対応する。



城南立体駐車場

**質疑** 英語指導助手報酬等の内容は。

**答弁** 全小学校にALTを配置するための人件費で、本年9月初旬には全ての配置が完了する。

## 市民経済常任委員会

**質疑** 防犯カメラ設置による捜査協力の事例数と犯罪抑止力の効果は。

**答弁** 平成28年中の高崎警察署からの照会は50件、109台である。防犯カメラの存在が認知されていく中で犯罪抑止力につながると考える。

**質疑** 榛名最終処分場（エコパーク榛名）の埋め立て期間とその後の予定は。

**答弁** 計画上、平成35年度末までとなっている。その後は埋め立て量を増加し、期間延長できるかどうかの調査を地元地域の了承を得て実施している。

各常任委員会及び都市集客施設建設調査特別委員会において、付託された議案などを審査しました。質疑・答弁の一部を掲載します。

## 保健福祉常任委員会

**質疑** こども発達支援センター事業予算が増額となった理由は。

**答弁** センター全般の業務に関わるとともに、関係部署との連絡調整と相談支援のコーディネーター役を担う保健師を1人増員するためである。

**質疑** 集団健診タクシー送迎事業の周知方法は。

**答弁** 健康のしおりや健康づくり受診券への案内文の掲載や対象地域への回覧、地域の会合等に出向き説明するほか、タクシー車内への掲示をタクシー協会と協議している。

## 建設水道常任委員会

**質疑** ゴルフ場跡地各所整備工事の内容は。

**答弁** 高崎カントリークラブ跡地において、用水路に転落防止用の柵を設置するとともに、あずまや、ベンチ等を設置するものである。



高崎カントリークラブ跡地

**質疑** 中里見公園（仮称）整備工事の内容は。

**答弁** 中里見町地内の中河原青少年広場にゲートボール場、駐車場、トイレなどを整備するものである。

## 都市集客施設建設調査特別委員会

**質疑** 文化芸術センター等建設・運営アドバイザーの業務内容と人数は。

**答弁** 設計や施設の運営方法等の高度な専門的事項や都市文化を通じたまちづくりへの取り組みに関し、助言や調査を行うものであり、人数は14人である。

**質疑** 電波障害対策委託料の内容は。

**答弁** 文化芸術センター（仮称）の建設で、周辺地域にテレビ電波などの受信障害が発生した場合に、共聴アンテナの設置やケーブルテレビの敷設などを行うものである。

## 市議会の予定

5月		
15日(月)	午後1時	臨時会
6月		
8日(木)	午後1時	開会、議案の提案説明など
9日(金)		
12日(月)	午後1時	一般質問
13日(火)		
14日(水)		
16日(金)	午前10時 午後1時30分	総務教育常任委員会 保健福祉常任委員会
19日(月)	午前10時 午後1時30分	市民経済常任委員会 建設水道常任委員会
22日(木)	午後1時	委員長報告、提出議案等の議決、閉会

## 議会を見てみよう

### 傍聴席で

本会議の傍聴は、議会棟5階にある傍聴受付で、住所・氏名を記入して入場してください。

傍聴席は、車椅子用の2席を含め78席ありますので、ぜひお出かけください。

### インターネットで

本会議の様子は、ライブ中継や録画配信をしています。市議会ホームページの「議会中継」からアクセスしてご覧ください。

また、スマートフォンや、タブレット端末からもご利用いただけます。



# 議案等審議結果

件名		結果
報告	専決処分の報告（2件）	—
議案		
第1号	市道路線の廃止	可決
第2号	市道路線の認定	可決
第3号	請負契約締結（くらぶち英語村（仮称）施設整備工事）	可決
第4号	土地取得の変更（浜川運動公園拡張整備用地）	可決
第5号	土地取得の変更（吉井中央公園整備用地）	可決
第6号	地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正	可決
第7号	一般会計（第7号）	可決
第8号	国民健康保険事業特別会計（第3号）	可決
第9号	介護保険特別会計（第3号）	可決
第10号	牛伏ドリームセンター事業特別会計（第3号）	可決
第11号	後期高齢者医療特別会計（第1号）	可決
第12号	農業集落排水事業特別会計（第1号）	可決
第13号	駐車場事業特別会計（第1号）	可決
第14号	水道事業会計（第3号）	可決
第15号	公共下水道事業会計（第3号）	可決
第16号	包括外部監査契約の締結	可決
第17号	一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決
第18号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決
第19号	市税条例の一部改正	可決
第20号	教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例の一部改正	可決
第21号	学校給食センター設置条例の一部改正	可決
第22号	体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決
第23号	子育てなんでもセンター設置及び管理に関する条例の制定	可決
第24号	特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第25号	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第26号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第27号	指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第28号	指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例附則第5項の規定によりなおその効力を有するものとされた指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第29号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可決

件名		結果
第30号	指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第31号	自転車等の放置防止に関する条例の一部改正	可決
第32号	自転車駐車場条例の一部改正	可決
第33号	工場立地法に基づく地域準則条例の制定	可決
第34号	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料条例の一部改正	可決
第35号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	可決
第36号	一般会計	可決(多)
第37号	国民健康保険事業特別会計	可決(多)
第38号	介護保険特別会計	可決
第39号	牛伏ドリームセンター事業特別会計	可決
第40号	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	可決
第41号	後期高齢者医療特別会計	可決(多)
第42号	簡易水道事業特別会計	可決
第43号	農業集落排水事業特別会計	可決
第44号	駐車場事業特別会計	可決
第45号	土地取得事業特別会計	可決
第46号	水道事業会計	可決
第47号	公共下水道事業会計	可決
第48号	平成28年度一般会計補正予算（第8号）	可決
第49号	監査委員の選任同意	同意
第50号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意	同意
第51号	人権擁護委員候補者の推薦	同意
第52号	人権擁護委員候補者の推薦	同意
請願		
第1号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書の採択	不採択(少)
第2号	西毛広域幹線道路の建設促進	採択(多)
第3号	オスプレイ飛来、日米共同演習の中止を求める意見書の採択	不採択(少)
第4号	「共謀罪」を創設しないことを求める意見書の採択	不採択(少)
議員提出議案		
第1号	手話言語条例の制定	可決
意見書案		
第1号	無料公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備促進を求める意見書	否決(少)

※賛成多数を(多)、少数を(少)と表記しています。それ以外は全会一致です。

## 同意した人事案件

- 監査委員 田口 幸夫 氏 たぐち ゆきお
- 固定資産評価審査委員会委員 市川 悟 氏 いちかわ さとる
- 人権擁護委員候補者 江原 章博 氏 えはら ともひろ
- 人権擁護委員候補者 亀田 慎也 氏 かめだ しんや

賛否一覧表（上記議案等審議結果で賛否が分かれたものについて掲載しています。）

議案番号	議員名	新風会 22人																						市民クラブ 5人					公明党 5人					日本共産党 3人			無所属		
		後藤 彰	清水 明夫	時田 裕之	追川 徳信	大竹 隆一	渡邊 幹治	白石 隆夫	根岸 赴夫	田角 悦真	長壁 真樹	飯塚 邦広	後閑 太一	寺川 優	石川 徹	青柳 隆一	松本 賢二	後閑 高男	柄沢 和久	丸山 和正	柴田 和正	柴田 治男	中島 輝男	林 恒徳	堀口 純章	木村 純章	高橋美奈雄	小野 聡子	新保 克佳	丸山 克寛	逆瀬川 孝夫	木暮 孝夫	田村 理博	伊藤 敦博	依田 好明	北嶋 菊好	松本 基志	三島久美子	
議案第36号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第37号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第41号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願第1号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
請願第2号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願第3号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
請願第4号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
意見書案第1号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

※議案等賛成者は○、反対者は×としています。議長は採決に加わらないため、斜線としています。



古紙/パルプ配合の再生紙を使用  
環境にやさしく「おモト」に大豆インキを使用しております。